

総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 平成 30 年 2 月 26 日(月) 開会 14 時 30 分
閉会 15 時 00 分
2. 場 所 第 1 委員会室
3. 付議事件 ①児童遊園地・子どもの広場について
②事業効果の検討について
公園等維持管理運営経費
4. 出席者 野地委員長 善波副委員長 桑原委員 二宮委員 杉崎委員 柳川委員
二見議長
- 傍聴議員 7 名
一般傍聴者 0 名
議会事務局 2 名 (局長、課長)

5. 経 過

議長あいさつ

①児童遊園地・子どもの広場について ②事業効果の検討について 公園等維持管理運営経費

委員長 閉会中の継続調査としていた児童遊園地・子どもの広場について、公園維持管理運営経費を議題とする。その後、第 1 回定例会後の継続調査についてどうするかを議論したいと思う。「シェアにのみや」意見交換会報告書、2 枚目には継続調査としての報告書を配布した。一度「シェアにのみや」意見交換会報告書をご覧いただいているがご意見、質問ある方は挙手を願う。

議長 この間、緑が丘の古墳公園近くに住んでいる方から長い質問をされたが、委員長サイドでこの問題について担当課に聞きに行ったのか。

委員長 その後、細かくは聞いていない。やりとりの中では共有地ではないという話がありそのままにしてしまった。確認して報告する。他に何か気になる点はあるか。

議長 先日の「シェアにのみや」の総務建設経済常任委員会の意見交換会は、今までとは違って非常に良かったのではないか。今後、皆さんとともに手を結びスムーズにやっていきたいと思う。

委員長 閉会中の継続調査の流れとして公園のあり方をやっていて、意見交換会の話になっている。時期が来たら教育福祉との関連があるので、まずはこのような形でホームページに掲載する。何か気づいた点があれば報告願う。この件については了承ということにする。2 枚目であるが、閉会中の継続調査として公園について調査してきた。公園統廃合計画を作られるということでその件について追いかけてきた。12

月第4回の定例会で総務として提言した管理の運営について、地区や団体等への意向は、地区によく説明して意見を聞いてから進めて下さいと提言をしていた。今回の第1回定例会について児童遊園地の条例を改正するというものも出てきておらず、地区との交渉、協議が終わってから都度条例の改正をしていきたいと聞いているので提言を理解していただけたと思う。2つ目の公園の維持管理運営経費については30年度の予算案を見ると予算は去年とほぼ同額である。児童遊園地・子どもの広場に対する経費は変更なく、町で草刈りと管理をするというところで予算案が出ていた。したがって、強制的に地区に降ろして進めていくという意思表示になっていないと判断した。今回をもって公園のあり方について継続調査を終了する。この件について意見、質問ある方どうぞ。

議長 最後によ望書は担当課に提出するのか。これで終わりなのか。

委員長 私は12月の定例会で提言させていただいた。今回の閉会中の調査としては、その提言により計画案、30年の予算案が作られるかというものであり、今後改めて別の報告書を出すということは考えていないが、この件についていかがか。必要であれば作成しなければならない

議長 意見交換会もそうだが、公園を地域住民にお願いすることがだいぶアレルギーになっているという意見が出ていた。担当課が地域に行って説明しないと、地域の人が理解してくれないと思い、知ってもらいたいがそのところはいかがか。

善波 委員長ともその件について話した。単年度で結論が出ない。5年かけて提言したことをまとめていく。条例改正を順次やっていくのだが、ここであえてそれをやるのかどうかということだが、なにしろ単年度ではなく5年計画でやっていくので、このような要望的なものに終わってしまうので、いったん間を置こうかと思っていたがいかがか。

桑原 継続調査案として庁舎の問題だが。

委員長 それは次の件であり、今は公園関係の話をしようと思っており、ここで終了したいということだったが。

桑原 その話をしようと思っていた。もし、3月議会で継続調査の話をした場合、すぐ改選になってしまうのでどこまで話をしたのかということになってしまう。できればもう一度提言書を出し、公園について話し合いをして最後に終了したい。

委員長 桑原委員から公園のあり方を終了するのではなく、引き続き継続調査として委員会でやるべきだという話が出て、改めて提言するという意見である。意見交換会で町民の方からのご意見、ご要望が出ており報告書の3ページにある。これはホームページに載せ、要望書という形にはならないが、この確認、要望については改めて都市部に提出しようかと思う。他にどなたか質問あるか。

庶務課長 委員長が作成したA4一枚の1、2番の継続調査の資料については、役場の新庁舎に置く。所管事務を終えたということで、1枚でも最終日に報告書を提出した方がよい。提言書でなくてもかまわない。皆さんの考え次第である。12月以降、継続調

査をしてきて結論に至った経緯をなんらかの形で文章に残し、議長宛に報告書を1枚作成して提出した方が明確である。

委員長　　ここで委員会として終了するのなら、報告書を議長宛に提出するということを和田課長から提案いただいた。話が前後してしまったので、今後の継続調査について話に移らせていただく。先ほど、桑原委員からこのまま公園のあり方は続けたほうが良いということだった。案としてだが、新役場庁舎の整備についてすぐに30年度に動いた方が良いのではないかと思う。それについて皆さまの意見を伺いたい。

桑原　　新庁舎について検討するのは良いが、11月に改選になった時に途中で終わってしまうのがいかがか。

委員長　　ご意見いかがか。継続調査は第1回定例会終了後から2回定例会までの期間である。引き続き、第2回後も同じテーマで継続調査をするのであれば、改めて皆さんの意見を伺いながら決めていくのかと思う。改選後も引き続きどなたがどうされるのか分からないが、「引き続き調査願いたいという」引き継ぎは、必要であれば提出できると考えている。

杉崎　　15日の前に1回勉強会を行った。15日の庁舎について町側から意見を待って、委員会で決めるということで大筋の合意を得られた。桑原委員の言われるのももともとだが、せつかく庁舎についての発表があり、1回目、2回目、3回目までこの問題を取り上げ、最終的に新体制になっても委員長が言われたように、引き続き残すのも良いかと思われるのがいかがか。

委員長　　二宮議員、柳川議員いかがか。

二宮　　この件について、話題が逸れてしまうかもしれないが質問がある。開成町で新庁舎を建てていて議会で質問するにあたり、新庁舎の協議会のようなものを立てた。議員を全員シャッフルした中で新庁舎に対するチームか、総務建設経済常任委員会のみで進行していくのか過去はどうだったのか。

庶務課長　　今どなたかから声があったが、1つには特別委員会のような形も考えられるが、町に関わることなのでそういうものを設置する場合は、事前に議会と執行者側と協議した上で、そのような介入ができるのかどうか、可能性について打ち合わせをしておいた方がよい。

二宮　　そうなると、新庁舎に関しては総務建設経済常任委員会でもよいと思う。しかし、この案を正式に提出する前に総務建設経済常任委員会で行うということ、一度、議会全員協議会にかけるという流れは不要なのか。

杉崎　　まだ決まっていないので、とりあえずは総務建設経済常任委員会で動いたらどうか。いよいよやるということになったら、執行者側がどのように議会に出てくるか分からないが、それから立ち上げるなり、特別委員会を置くなり、いろいろな方法がある。それからでも私は間に合うと思う。改選もあるので総務建設経済常任委員会で先駆けて取り上げる方がよいと思う。

- 二宮 その言葉を聞いて安心した。資金面での3例が出ていたが、建て方やSDGsの地球環境にやさしい庁舎にするのかは、まだ町で固まっていないと聞いている。その点を含めて何か勉強会ができれば良いかと思う。
- 委員長 皆さんの意見を伺うと、新役場の整備については改選もあるが、議会側も早々とスタートしていくというご意見かと思われる。30年度は基本構想、基本計画の年度であり、どのようなものが建てられるのか、また予算、平米数も分からずこれからという状況である。私たちは町民が求める庁舎がどんなものか意見交換会中でも取り上げ、執行者側に要求していく、町民意見をまとめて提出する。基本計画の中で既に入れていっていただきたいという考えである。町民から庁舎について議会は、どう考えているのか問われることがある。個人としての意見はいくらでも言えるが、議会として言われたときに全く検討していないということになると、何をやっているのかということになる。町の方向性が決まる一大事業なので執行者とともに歩んでいかなければならない。私たちは全国の新庁舎について調べたり、このようなやり方があるということを経験したり、執行者に提案していく方が、より良いものが作られると思う。新庁舎の役場整備については、少し早いところはあるかもしれないが、時期が来れば特別委員会の設置も新たに必要ではないかと考えている。
- 議長 局長に伺いたい。議長会議等で一般人の庁舎建設特別委員会、庁舎内の庁舎建設委員会等、そのような特別委員会について作るという話は出ていないのか。
- 局長 具体的なものは出ていない。30年度の中で基本構想、基本計画を策定していく段階で体系的なものはこれからである。議長が言われる組織的な協議会のようなものは未定である。
- 議長 議会から町の特別委員会ができて、議員がそれに参画しないという方向なので、そうすると委員会で勉強しながらやっていくしかない。だから委員会で勉強していこうと思う。
- 委員長 確認だが、第1回定例会後の継続調査として新役場庁舎の整備についてよろしいか。
- （「異議なし」との声あり）
- 委員長 異議なしと認める。本日の議題は以上であるが皆様から何かあるか。
- 杉崎 課長から言われていた報告書はA4一枚で作成していただけるのか。
- 委員長 作成する。内容は皆さまにメール等、もしくは書面でお渡しさせていただく。継続調査の調査報告が一枚お手元にある。その1と2の理由のもとで報告書とさせていただきます。ご了承願う。
- 議長 庁舎の研究をするのを良いが、どこから手をつけるのが難しい問題である。研究をする前に、近隣の庁舎が新しくしたところがあるので、最初どういうところから勉強していったのか参考事例があると思うので、そういうのでやっていかないといけない。

二宮 先ほども言ったが、開成町の庁舎は低自然エネルギーを自己完結で取り行う庁舎である。水道代、ガス代、電気代を自社ビルで賄うZEB化で国からの助成金が数億円出るとのことである。そういうものを勉強するのはいかがか。TPPとか資金面など2方向ある。資金面とどのような建て方にするかという方向性でいったらどうか。

善波 今度6日に庁舎のことを一般質問する。その回答がどう出るか。今まだ町はラディアン周辺がよいかということで基本構想をもとに行うということである。土地柄、白骨調査をした場合、何か出てきた場合に遅れが生じたりする。まだ庁舎の立ち上げまでできておらず、我々は、先に勉強して二宮議員の言った方法でやったらどうか等、資金面としては3種類あったが、ベストな方法は補助金を対象にやることで執行者側も予定している。これから建てるのであれば何十年先も見越してであり、この前話に出た15億円というのは基本的な話で、総合的な合同庁舎的にすれば20億、25億になってもそれが二宮町にとって理想と思えば、それが良いわけである。これはまだ研究なので、他の良いところを見て、提言できるような勉強をしていこうかと思っている。

委員長 次回の勉強会の中で資金面、建物の中身のこともあり、ある程度どういうものをテーマにやるのかを考えていただき、調査・研究するのか、より細かく詰めていきたい。

桑原 私が提出したアンケートの結果はどうなったのか。全部分かった状態で渡していなかったのだ。

善波 直して整理し、メールで流した。

委員長 先ほどの桑原議員の質問だが、一度全部整理をして、皆さまに2月18日にメールした。もう一度確認していただき、ホームページ上に掲載するので先ほどの報告書とともに不備な点があれば、その都度ご指摘いただきたいと思っている。アンケートについては現状報告書とともに了解いただいていると判断した。

閉会 15時00分